

XSOL

低反射(防眩) 太陽電池モジュール 225W/435W

光の反射(光沢度)
約90%カット

設置方位・環境条件
の拡大

屋根と調和する
美しいデザイン

製品仕様一覧

品番	XLN56-225SC [防眩・水切型]	XLN108-435X [防眩・水切型]
セル種類	N型単結晶(ハーフカットセル)	
フレーム(材質/色)	アルミ合金/ブラック	
モジュール変換効率	21.1%	22.3%
公称最大出力	225W	435W
公称開放電圧	39.50V	38.40V
公称短絡電流	7.28A	14.31A
公称最大出力動作電圧	33.20V	32.00V
公称最大出力動作電流	6.79A	13.60A
外形寸法(W×D×H)	1390×768×30mm	1722×1134×30mm
質量	11.5kg	22.0kg
耐荷重	正圧 5400Pa / 負圧 2400Pa ^{※2}	
	最大積雪荷重 ^{※1} 正圧 5400Pa	
希望小売価格(税込)	148,500円	287,100円
外形寸法図		

※1 固定点数および固定範囲により荷重性能が異なります。荷重値は認証上の試験荷重になります。設計荷重=試験荷重/1.5(安全率)で設計すること。
※2 裏面側からは、積雪荷重が加わらないこと。

光の反射(光沢度60°) 比較

	太陽電池モジュール		屋根材				
画像							
名称	低反射(防眩)	弊社従来製品	平板瓦(黒)	スレート屋根(黒)	金属屋根(黒)	金属屋根(ガルバ素地シルバー)	金属屋根(半艶シルバー)
光沢度(60°)	1.8	18.8	9.2	2.3	5.5	28.3	14.7

※1 ISO 2813(JIS Z 8741に相当)の試験方法に準拠した光沢度測定結果

<販売店>

XSOL 株式会社エクソル

東京本社 〒105-0012
東京都港区芝大門2-4-8 JDBビル

お客様相談窓口

☎ 0120-33-1139 (9:00 ~ 18:00 土日祝休み)

眩しいのは、未来だけでいい

光の反射を極限まで抑えた 低反射(防眩)太陽電池モジュール

光害リスクなどが理由で太陽光発電システムの設置をあきらめていた都市部などの住宅屋根やコンビニの屋根、景観条例（将来的に国立公園内建物等含む）がある地域への設置が可能になります。

水切り加工

フレームの角に「水切り加工」を採用。雨水とともに汚れを流れ落としやすくしているため、発電量の低下を軽減することができます。

次世代N型TOPConセル

従来のP型セルに比べて低照度・高温環境においても高い発電パフォーマンスを実現。変換効率が高く、年次経年劣化率が低いため、モジュールの生涯発電量が長く経済性に優れています。

保証内容

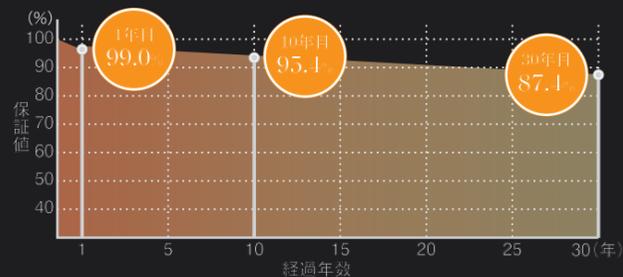
出力保証
30年

長期間の発電を実現するため、太陽電池モジュールの出力を30年間保証します。保証開始日から1年目は公称最大出力の99%、以降2年目から30年目まで0.4%ずつ減少した数値を保証します。

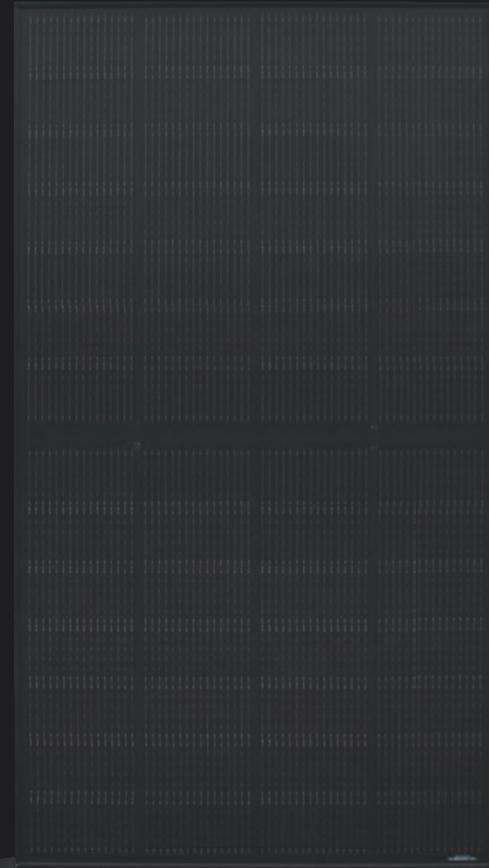
製品保証
15年

設置から15年の間に、設計もしくは製作不良などが発生した場合は、速やかに修理または良品との交換を行います。

出力保証イメージ



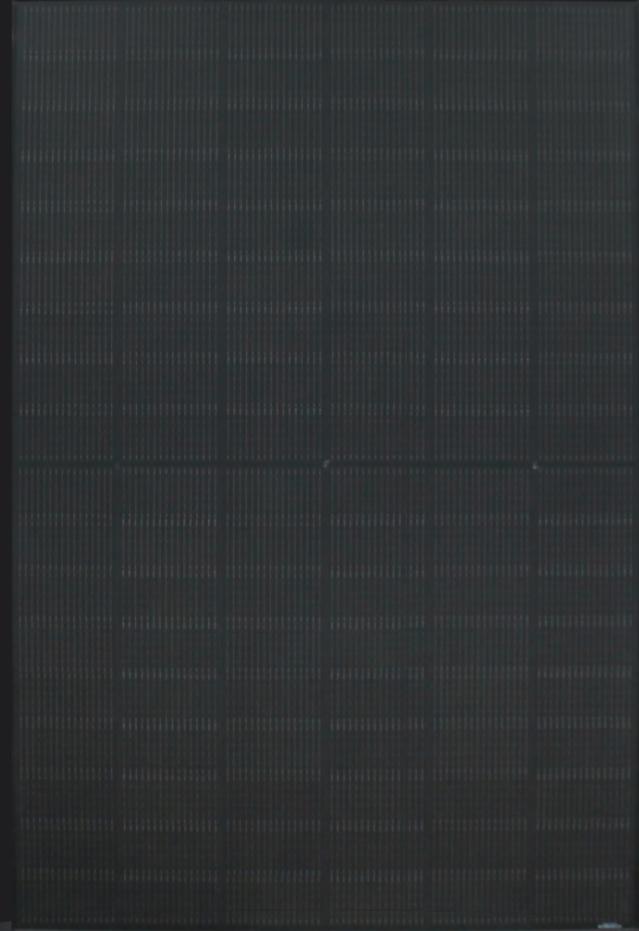
モジュール変換効率
21.1%
公称最大出力 225W



XLN56-225SC

外寸: W 1390×D 768×H 30 mm
質量: 11.5 kg

モジュール変換効率
22.3%
公称最大出力 435W



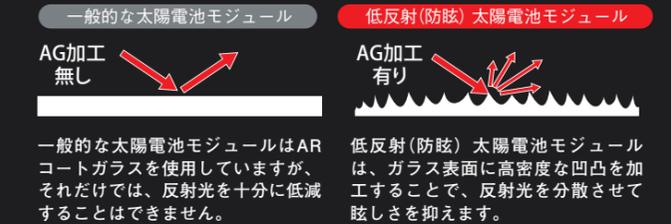
XLN108-435X

外寸: W 1722×D 1134×H 30 mm
質量: 22.0 kg

POINT

1. 光の反射(光沢度)約90%カット

ガラス表面に加工した高密度な凹凸により、優れた低反射性能を発揮^{※1}し、反射光が分散・低減されるので眩しさを抑え^{※2}ます。



2. 設置方位、設置環境条件の拡大

低反射を実現し、従来設置が難しかった北面^{※3}などへの設置検討が可能となります。



3. 屋根と調和する美しいデザイン

低反射(防眩)太陽電池モジュールは、バックシートやフレームを黒で統一することで屋根と調和し、美しい外観を実現します。



*AG: Anti-Glare (日本語で「低反射」を意味します)

*ガラス表面に凹凸加工を施した低反射(防眩)太陽電池モジュールは、光の当たり具合によって灰色がかった色味に見えます。これは、反射光を十分に分散しているための現象です。

※1 低反射(防眩)太陽電池モジュールは一般的な太陽電池モジュール(ARコート)より反射低減を行っておりますが、完全に反射光を無くすものではありません。

※2 「眩しさ」は周囲の環境、個人の感覚により異なります。

※3 北面設置の場合、発電量が低下します。北面設置に対する検討や周囲環境および近隣住民等への配慮を十分にしてください。発電量低下および反射光による不具合やトラブルは、一切の責任を負いません。なお、真北を0度として、±45度の範囲を北面とします。